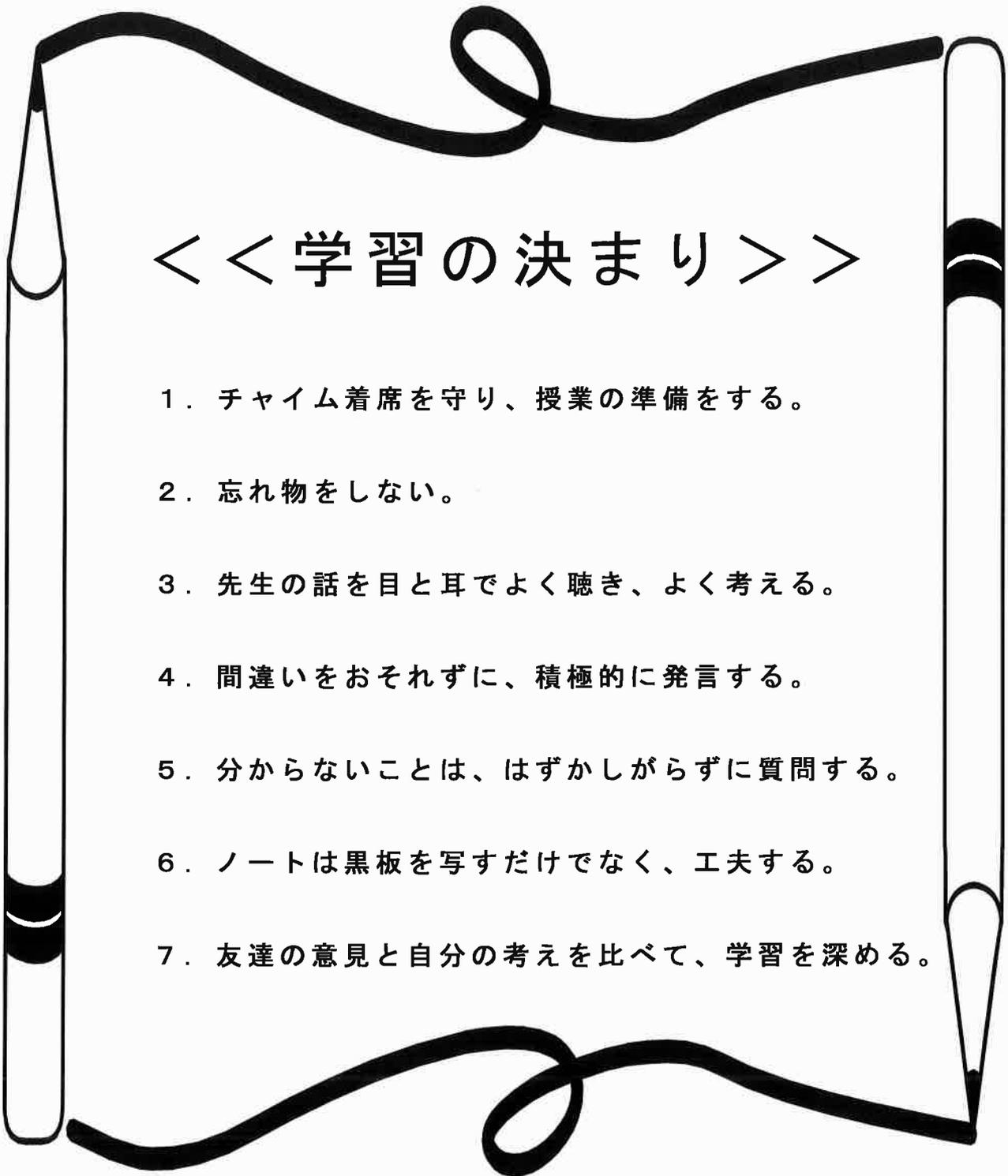


# 学習の手引き

夢に向かて  
自ら学ぶ  
豊かて  
たくましく生徒

蓮田市立黒浜西中学校



## << 学習の決まり >>

1. チャイム着席を守り、授業の準備をする。
2. 忘れ物をしない。
3. 先生の話を目と耳でよく聴き、よく考える。
4. 間違いをおそれずに、積極的に発言する。
5. 分からないことは、はずかしがらずに質問する。
6. ノートは黒板を写すだけでなく、工夫する。
7. 友達の意見と自分の考えを比べて、学習を深める。

# 「学習の手引き」について

蓮田市立黒浜西中学校

## はじめに

中学校生活の中心は、授業です。みなさんはきっと誰もが「勉強が分かるようになりたい」と思っていることでしょう。けれど、「何をどう勉強してよいのか分からない」と不安を感じている人もいるのではないのでしょうか。そこで、少しでもその不安を減らし、目標を持って学習に取り組めるように、「学習の手引き」を作成しました。これは、各教科でこの一年間に、何を目標に、どんなことを、いつ頃、どう学ぶかをまとめたものです。また、何をもとに評価していくのかについても記されています。「学習の手引き」は、学習の「道しるべ」であり、見通しを持った学習が行えるように活用してみてください。

## 学習の手引きの趣旨

### ○各教科の身につけたい力を確認する

それぞれの教科でどんな学習をするのか、教科の学習の目的は何なのか、また、学習することでどのような力を身につけるのかを確認することができます。

### ○学習内容の進み方を確認する

学習予定により、一年間でいつ頃にどんな学習をするのか知ることができます。教科書と照らし合わせながら、自主的な学習計画を立て、積極的に授業へ参加できるようにしましょう。

### ○評価の方法を知る

学習のポイントは何かを知ることが、学習意欲の向上につながりますし、学習に張り合いが出ます。先生方はそれぞれの教科のねらいに対して、一人一人が「どのくらい到達しているのか」「何ができていないのか」「今後どう指導していけばいいのか」等を知るために、各教科の特性に合わせて評価をしていきます。次の「**評価の方法について**」を参考に、効果的な学習方法を確立していきましょう。

## 評価の方法について

### ○各教科の観点別評価の視点

それぞれの教科では、文部科学省の定めた学習指導要領に沿って、4～5つの観点が定められています。「**こんながんばりが評価されます**」では、各教科の観点別評価は主に何をもとにして評価されているのかが書かれていますので、日々の授業に役立ててください。各教科とも、テストだけではなくいろいろなことに着目していることが分かります。4～5つの観点は、教科の特性を考慮し、同じ比率で評価するとは限りません。

### ○各観点の評価方法を確認する

また、「**こんながんばりが評価されます**」では、各教科の特性や、評価をつけるときの着眼点が書かれています。これまでの学習の取り組みを振り返り、不足している部分や十分に満足できる部分を知る資料として活用してください。そして、これらを参考に、効果的な学習方法を確立していきましょう。また、保護者の皆様は、ご家庭で授業や家庭学習について話題にして頂き、子どものノートやプリントなどにも目を通して見て下さい。

## ○観点別評価と評定の関係づけについて

観点別評価は、各評価項目ごとに以下のようにA,B,Cの3段階で評価されます。

- 「A」・・・その観点に関して、十分に満足できる状態
- 「B」・・・その観点に関して、おおむね満足できる状態
- 「C」・・・その観点に関して、努力を要する状態

各教科の各観点別評価をもとに、総合的に「1～5」の5段階で評定を出します。観点別評価と評定の関連について、おおよその目安となるのが、下に示した表1です。この表はあくまで目安です。なぜならば、教科によって観点別評価の重点が異なるからです。（例えば、知識や理解を特に重視する教科もあれば、技能や表現を重視する教科もあるためです。）それぞれの教科によって重点とする観点が違うため、同じ基準では観点別評価を評定へ結びつけることはできません。学年の評定は、評定の平均の小数第1位を四捨五入したものになります。

表1：観点別評価と評定を関連づける例（観点が4つに区分された教科）

Aの数	4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0
Bの数	0	1	0	2	1	0	3	2	1	0	4	3	2	1	0
Cの数	0	0	1	0	1	2	0	1	2	3	0	1	2	3	4
評定	5	5 4	4 4 3	4 3	3 3	3 3 2	3 3	3 3 2	3 3 2	3 3 2	3 3	3 3 2	3 3 2	2 2 1	1

\*この表は、観点別評価と評定を関連づける例です。実際は各教科の特性に合わせて若干、異なる場合があります。ご了承ください。

## 保護者の皆様へ

生徒たちが主体的に学習を行い、自らを高める活動を私たちは全力で支援していきます。

- 「学習の手引き」は、
- ・学習の単元や題材、また学習内容を示したものです。
  - ・学習するべき目標（評価の規準）も示されています。
  - ・学習の様子を評価する方法も示されています。

学習の主体者である生徒たちが目標を持ち、学習内容を十分に習得できるように願い、「学習の指針」としてこの学習の手引きを作成しました。ぜひ、有効にご活用ください。



# 国語科の学習



## こんな力をつけよう

- ①【話すこと・聞くこと】ものの見方や考え方を深め、目的や場面に合わせて、的確に話したり聞き取ったりできる力を身につけよう。また、自分の話し言葉を豊かにしよう。
- ②【書くこと】さまざまな材料をもとに考えを深め、相手や目的に合わせて、筋道の通った効果的な文章を書く力を身につけよう。
- ③【読むこと】文章の内容や言葉の使い方を的確にとらえられる力を身につけよう。そして目的に合わせて文章を読んだり、広く情報を集めたりして、自分のものの見方や考え方を広げると共に、それらを効果的に活用できるようにしよう。そのためにも積極的に読書に親しもう。

## こんながんばりが評価されます

※授業の状況により、下記以外の観点や方法で評価する場合があります

	観 点	方 法
1	<b>【国語への関心・意欲・態度】</b> ①忘れ物をせずに授業に臨んでいるか。 ②授業に積極的に参加し、進んで発言しようとしているか。 ③授業中出された課題やノートの記録、プリント記入などにしっかり取り組んでいるか。 ④提出物はきちんと仕上げ、期限を守って提出するよう頑張っているか。	授業中の観察、作品等の提出物、ノート、ワーク、
2	<b>【話す・聞く能力】</b> ①授業に集中し、落ち着いて考え、人前で積極的に自分の考えを話そうとしているか。 ②発言時にはきちんとした言葉づかいで、みんなに聞こえるように話しているか。 ③発表や討論では、自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、相手の発言をしっかり聞き取ったりしているか。	授業中の観察、発表の仕方と内容、聞き取りのワークシート、定期試験等
3	<b>【書く能力】</b> ①作文や感想文等で、自分の考えや気持ちを的確に表すために、材料をそろえ、組み立てを考え、説得力のある文章を書こうとしているか。 ②正しい漢字や言葉を用い、日本語として自然な言い回しの文章を書いているか。 ③話し言葉と書き言葉をきちんと使い分けているか。 ④短歌や創作文等で、感性豊かな作品や文章を作ることができたか。	作文、感想文、短歌、要約文、意見文、定期試験等
4	<b>【読む能力】</b> ①授業中、聞く側のことを考えた効果的な音読・朗読をしているか。 ②様々な文章の主題や内容・作者の思い等についての的確に内容を読み取っているか。	授業中の音読、朗読等 定期試験等
5	<b>【言語についての知識・理解・技能】</b> ①漢字を正しく読んだり書いたり、使いこなしたりすることができるか。 ②日本語の基本的な文法について理解できているか。 ③書写においては、文字を正しく、美しく、整えて書くことができているか。 ④方言やことわざ・慣用句など、日本語の多様性と豊かさについて関心をもち、理解を深めようとしているか。	漢字小テスト、定期試験等、硬筆、書き初め等

## こんなふうに勉強しよう

### 授業では

#### 1. 授業には前向きな姿勢で参加しよう！

- ・積極的に手を挙げ、発言や質問をしましょう。自分が発言したことや質問したことは忘れないものです。
- ・授業ではどんな失敗でも許されます。人前で話したり、自分の考えを述べたりすることに慣れるための場だと思い、失敗を恐れずチャレンジしましょう。
- ・発言や発表時には起立し、全員に聞こえるよう大きくはっきりした声でおこないましょう。
- ・教師の説明や友達の発言の時には集中し静かに聞きましょう。自分の考えを広げ深めるときです。
- ・提出物は期限を守り必ず提出しましょう。

#### 2. オリジナルのノートをつくらう。

- ・ノートは2冊用意しましょう。1冊は授業用、もう1冊は漢字・意味調べ用として活用します。ただ黒板を写すだけではなく、先生の説明や友達の発言などで大切だと思ったことは書き込んでおきましょう。ふと浮かんだ自分の小さな感想や疑問などもその都度、メモしておくことで必ず役立ちます。
- ・2～3色くらいのペンを使用して、自分にとって使いやすい工夫をしましょう。後で書き込みができるようにつめて書かずに、充分、余白を残しながら書いていくほうがよいと思います。
- ・授業で使用した補助プリントやワークシート等は、必ずその都度、貼ったりファイルに綴じたりしておきましょう。

**家では**

- ・まず、教科書を音読し、確実に読めるようにしておきましょう。
  - ・読めない漢字や意味のよくわからない語句は、辞書で調べ、ワークやノートに書いておきましょう。
  - ・文法や漢字の習得は、積み重ねが大切です。そのままにしておくとうどんどんわからなくなってしまう。新出漢字や読み書きのできない字は、我慢強く覚えていくしかありません。根気のいる学習ですが、漢字の力は“一生の宝”と言ってもよいでしょう。着実に身につける覚悟で学習に取り組みましょう。漢字練習専用のノートを作るのもよいと思います。
  - ・積極的に新聞のコラムや興味のある記事を読んだり、読書をしたりしましょう。読解力がつくと同時に、言葉の種類と数が増え、ものの見方や考え方がぐんと深まります。
- ※黒浜西中では朝読書を行っています。本を読む意欲・読解力の向上のためにも真剣に取り組みましょう。

# こんな内容を学習します

※ 計画ですので、変更する場合があります。

	1年	2年	3年
一学期	<p>言葉に出会うために 詩歌「野原はうたう」 作文 スピーチ学習</p>  <p>学びをひらく 『ちょっと立ち止まって』 文法「言葉の単位」 言葉「話し言葉と書き言葉」</p>	<p>広がる学びへ 詩歌「明日」 作文 スピーチ学習</p>  <p>視点を定めて 『やさしい日本語』 文法「自立語」 言語「類義語・対義語・多義語」</p>	<p>深まる学びへ 随筆「朝焼けの中で」 作文 スピーチ学習</p> <p>多様な視点から 『月の起源を探る』 文法「文法を生かす」 言語「和語・漢語・外来語」</p>
	<p>スピーチ学習 ◆つながりを読む 『星の花が降るころに』</p>  <p>◆いにしえの心にふれる 和歌・故事成語 『竹取物語』</p>  <p>文法「文の組み立て」 言語「指示する語句と接続する語句」</p>	<p>スピーチ学習 ◆きずなを読む 『盆土産』</p>  <p>◆いにしえの心を訪ねる 『平家物語』『徒然草』 『漢詩の風景』</p>  <p>形容詞 文法「用言の活用」 言語「敬語」</p>	<p>スピーチ学習 ◆状況を読む 『挨拶』</p>  <p>◆いにしえの心と語らう 『おくのほそ道』</p>  <p>「万葉」「古今」「新古今」論語 文法「文法のまとめ」 言語「慣用句・ことわざ・故事成語」</p>
三学期	<p>◆論点をとらえる 『流水とわたしたちの暮らし』 自分を紹介する 文法「単語の分類」</p>  <p>◆表現を見つめる 『少年の目の思い出』 話し合い活動</p>	<p>◆論理をとらえる 『モアイは語る』 ディベート 文法「付属語」</p>  <p>◆自分を見つめる 『走れメロス』 話し合い活動</p>	<p>◆論旨を捉える 『ネット時代のコペルニクス』 弁論大会</p>  <p>◆未来へ向かって 『三年間の歩みを編集する』 話し合い活動</p>

# 社会科

## こんな力をつけよう

- 地球でおこっているさまざまなできごとに興味や関心を持つよう。
- 興味・関心を持ったことがあったら、もう少し詳しく調べてみよう。  
※世界の国の名前や位置、気候はどうか、どんな生活をしているのか、どんな歴史があるのか・・・
- 調べたことを、自分なりに考えてまとめたり、人にわかりやすく説明できるようにしよう。
- 社会科の目標は『国際社会に貢献できる人』づくり。そのために、日本を知り地球を知る努力を欠かさないこと。

## こんなふうに勉強しよう

- 授業に集中することが一番。
- 地図は社会科の基本です。地理はもちろん歴史でも地図で確認すること。  
※地図帳は情報の宝庫です。
- 丸暗記では努力しても力にならない。特に歴史は時代ごとに順を追って、大きく特色をつかむようにしましょう。
- 公民は今の社会の仕組みを、学びます。身近な生活と結びつけることが大切です。

学校では

- 新聞やTVのニュースを見よう。
- 必ず明日の授業の予習をしよう。  
※授業がとつてもわかりやすくなります。どの教科も同じです。
- 政治のこと経済のこと疑問に思ったことを家の人に聞いてみよう。きっと意外なことを教えてくれるはず！

家庭では

## こんながんばりが評価されます

### 社会的事象への関心・意欲・態度

- 社会科の勉強が好きで一生懸命やっているかどうかを評価します。
- ・授業に集中しているかな？
- ・提出物を期限までに出しているかな？
- ・疑問に思ったことや興味のあることを調べたり質問したりしているかな？

努力は嘘をつかないのじゃ！

### 社会的な思考・判断

- 課題を解決するために、歴史的な視点から考えたり、地理的な視点から考えたり政治や経済の視点から考えたりしながら公平で正しい判断ができるかどうか評価します。
- ・疑問に思ったことを、いろいろな発想で考えているかな？
- ・『なるほど・・・！』と課題が解決されたとき、それで終わっていないかな？
- ※『じゃあ、あれもそうか！』『でも、これはちがうはず！』

### 資料活用・表現

- いろいろな資料を集めてきてその中から、いいものを選びレポートなどにまとめる力と、みんなに発表する力を評価します。
- ・いい資料を選ぶために、努力したかな？
- ・レポートなど見やすくきれいにまとめられたかな？
- ・発表がみんなの前で、堂々としてきたかな？

### 社会的事象についての知識・理解

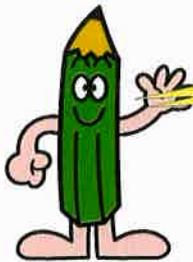
- 日本のことをよく理解するために、地理・歴史・公民の基礎的な知識と、それらの関連性を理解しているかどうかを評価します。
- ・地理は国名と都道府県名を、たくさん覚えておこう。
- ・歴史は5W1Hが基本。  
※When(いつ) Where(どこで) Who(だれが) What(なにを) Why(なぜ) How(どのように)
- ・公民は政治や経済の基本的な知

## こんな内容を学習します

	1年生	2年生	3年生		
	<p><b>地理</b></p> <p>世界の様々な地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の地域構成 地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを取り上げ世界の地域構成を学習します。</li> <li>○世界各地の人々の生活と環境 世界各地における人々の生活の様子とその変化について、自然や社会的条件と関係づけて考えます。</li> <li>○世界の諸地域 世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を学びます。</li> <li>①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ ④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア</li> </ul> <p>世界の様々な地域の調査</p> <p>世界の諸地域に暮らす人々の様子を取り上げ、様々な国の調査を行う際の視点や方法を身に付けます。</p>	<p><b>歴史</b></p> <p>歴史のとらえ方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の歴史で関心のあるテーマを決めて調べます。</li> <li>古代までの日本 ○文明のおこりと日本の成り立ち 人類の出現から古代文明、縄文・弥生時代から大王の出現までを学習します。</li> <li>○古代国家の歩みと東アジア世界 聖徳太子から大化の改新、奈良・平安時代の様子を政治・文化の面を中心に学びます。</li> <li>中世の日本 ○武士の台頭と鎌倉幕府 鎌倉幕府が開かれるまでの様子と武士の生活ぶりを学習します。</li> <li>○東アジア世界とのかかわりと社会の変動 元寇と室町幕府の成立や室町文化を学びます。</li> <li>近世の日本 ○ヨーロッパ人との出会いと全国統一 秀吉と信長の天下統一を中心に学びます。</li> <li>○江戸幕府の成立と鎖国 江戸幕府の仕組みと鎖国までの様子を中心に学びます。</li> </ul>	<p><b>地理</b></p> <p>日本の様々な地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の地域構成 地球儀や地図を活用し、日本の国土の位置、領域の特色、地域区分などから日本の地域構成を学習します。</li> <li>○世界と比べた日本の地域的特色 日本全体の視野から見た日本の地域的特色をとりあげ、日本の国土の特色とらえます。</li> <li>①自然環境 ②人口 ③資源・エネルギーと産 ④地域間の結びつき</li> </ul> <p>日本の諸地域</p> <p>日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、次のような地域の特色を学びます。</p> <li>①自然環境 ②歴史的背 ③産業 ④環境問題や環境保全 ⑤人口や都市・村落 ⑥生活・文化 ⑦他地域との結びつき</li> <p>身近な地域の調査</p> <p>蓮田市の観察や調査を行います。また、地形図の読み方を学習します。</p>	<p><b>歴史</b></p> <p>産業の発達と幕府政治の動き</p> <p>産業・文化と政治改革の動きを学びます。</p> <p>開国と近代日本の歩み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○欧米の進出と日本の開国 欧米の産業革命から海外進出の様子と幕府の滅亡までを学習します。</li> <li>○明治維新 維新の三大改革と明治憲法が成立するまでを学びます。</li> <li>○日清・日露戦争と近代産業 日清・日露戦争の原因と結果、日本の朝鮮半島への進出の様子中心に学びます。</li> <li>二度の世界大戦と日本 ○第一次世界大戦とアジア・日本 第一次世界大戦とアジアの世界的様子を学びます。</li> <li>○世界恐慌と日本の中国侵略 日本が中国進出を図った原因を考えます。</li> <li>○第二次世界大戦とアジア 第二次世界大戦と太平洋戦争を考えます。</li> </ul>	<p><b>歴史・公民</b></p> <p>現代の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の民主化と国際社会への復帰 日本の復興と国際社会に復帰する様子を学びます。</li> <li>○国際社会と日本 現在の日本の様子と世界との関わりを考えます。</li> <li>私たちと現代社会 ○私たちが生きる現代社会と文化 現代日本の特色として少子高齢化、情報化などについて学びます。</li> <li>現代社会をどう見る見方や考え方 社会生活におけるきまりの意義などについて考えます。</li> <li>私たちと政治 ○人間の尊重と日本国憲法 人間の尊重についての考え方を、基本的な人権を中心に深める、法の役割について考えます。</li> <li>○民主政治と政治参加 日本の選挙制度、国会・内閣・裁判所の仕組みと働き、地方自治の仕組みと課題などを学びます。</li> <li>私たちと経済 ○市場の働きと経済 消費生活や流通・生産のしくみを学び考えます。</li> <li>○国民の生活と政府の役割 国民の生活と日本の社会環境制度を中心に学び考えます。</li> <li>地球社会と私たち ○世界平和と人類の福祉の増大 国際連合の仕組みとはたらきを中心に国際紛争の現状を考えます。</li> <li>○よりよい社会を目指して 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探求し、自分の考えをまとめ</li> </ul>

# 数学科

こんな力をつけよう！



- 計算や図形そしてグラフなどの基礎的な知識や自ら問題を解決していく力を身につけよう。
- 数学的な見方や考え方の良さを理解しよう。
- 自分の考えを論理的に表現し、処理できる力をつけよう。
- 身の回りにたくさんある“数学”に興味を向けよう。

こんなふうに勉強しよう！



予習

教科書を中心に授業のポイントや流れを事前に確認しておこう。  
見通しを持って授業に望むことが大切です！

授業

- ① 授業の準備をしっかりとしよう。  
(忘れ物をしない、チャイム席を守るが基本です)
- ② 目的と意欲を持って授業に望もう。  
(課題に真剣に取り組もう。説明や発表をよく聞こう。積極的に挙手しよう。)
- ③ 分からないところは質問しよう。  
(分からないときが分かるチャンスです)
- ④ エキサイトノートをとろう。  
(要点、例題、問題などを整理して書こう)



“聞いて分かる”ことと“自分で解ける”事は違います。学力をつけることは、家で必ず復習の時間を作ろう！

復習

その日に習ったことは、その日のうちに再度確認することが最大のポイントです。理解が不十分なところは補充学習をしよう。



予習→授業→復習のサイクルを確立しよう。

こんな頑張りが評価されます！

数学への関心意欲態度

◎ 数学的な事柄に日頃から関心を持ち、数学的な活動の楽しさや数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを使って考えを進めようとしているかを評価します。

- ・ 授業に課題を持って参加しているかな？
- ・ 自分の力で解決しようとしているかな？ また、分からないことは聞いたり、友達の考えや意見を参考にしようとしているかな？
- ・ 提出物や持ち物は忘れていないかな？



数学的な見方考え方

◎ 数学の授業や活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、物事を数学的にとらえて、論理的に考えられているか、またそれをふり返って考えを深めているかを評価します。

- ・ 日常生活の中の数学を見つけ、その性質や法則性を考えたりしてるかな？
- ・ 授業で学習した事を生活で生かしてるかな？
- ・ 逆に日常の現象を学習したことを使って論理的に考えられるかな？

数学的な技能

◎ 数や式、図形、関数関係について数学の考えに従って表現したり、処理をする仕方、論理的に説明する方法が身についているかを評価します。

- ・ 答えが出たことに満足していないかな？ どうしてそうなったか説明できるかな？
- ・ 自分の考えが正しいことを根拠をあげて説明できますか？
- ・ 先を見通して計算や説明ができますか？

数量、図形などについての知識理解

◎ 数や式、図形、関数関係についての基本的な概念や原理、法則などについて理解し、知識を身につけているかを評価します。

- ・ 公式や求め方を丸暗記して満足していないかな？ 今まで学習してきたことをどう応用できるかが大切です。
- ・ 公式や求め方の意味や性質が、どんなことに使えるか考える習慣をつけよう。

こんな内容を学習します

1年:数学に親しもう		2年:数学を広めよう		3年:数学を深めよう				
章	節	章	節	章	節			
1 学期	1 正負の数	1 式の計算 文字を使った式の加減を表す方法を学び、式の表し方を広めます。	1 式の計算	1 多項式 文字を使った式の乗除を表す方法を学び、式の表し方を深めます。	1 多項式の計算			
	2 加法と減法		2 文字式の利用		2 因数分解 			
	3 乗法と除法		1 連立方程式		3 式の計算の利用			
	4 正負の数の利用			2 連立方程式の利用	1 平方根			
2 学期	1 文字を使った式	2 連立方程式 条件の複雑な未知の数量の求め方を広めます。	1 1次関数 	2 平方根 二乗して2になるような数について学び、数の範囲がさらに深まります。	2 根号を含む式の計算			
	2 文字式の計算					1 1次関数と方程式	3 2次方程式 さらに条件の複雑な未知の数量の求め方を深めます。	
	3 文字式の利用					3 1次関数の利用		1 2次方程式とその解き方
3 学期	1 方程式とその解き方	3 1次関数 関数の基本を学び、グラフを書いたり読んだり、2つの数量関係を推測したりします。	1 説明のしくみ	4 関数 $y=ax^2$ 関数の考えを深め、グラフの読み書きとともに、やや複雑な数量関係を推測したりします。	1 関数 $y=ax^2$			
	2 1次方程式の利用					2 平行線と角	2 2次方程式の利用	
	4 比例と反比例 ともななって変化する2つの数量についての関数の基本を学びます。					4 平行と合同 直線や角についての基本的な性質を学習し平面図形の見方へ広めます。		3 合同な図形
							1 関数	1 三角形
4 学期	2 比例	5 三角形と四角形 図形の性質等を使って、等しいことや正しいことを論理的に表現する方法“証明”について学習します。	2 平行四辺形	6 円 円周角と中心核に関係を理解し、角度を求めたり、証明に役立てます。	2 平行線と比			
	3 反比例					1 三平方の定理 直角三角形の性質を利用して辺の長さを求めたり、いろいろな課題に応用します。		
	4 比例と反比例の利用						3 相似な図形の面積と体積	
5 学期	1 図形の移動	6 確率 偶然起こる事柄の確からしさや、起こりやすさについて学びます。	1 確率	7 三平方の定理 直角三角形の性質を利用して辺の長さを求めたり、いろいろな課題に応用します。	1 三平方の定理 			
	2 基本の作図					8 標本調査 集団の傾向を知るための調査の仕方について学習します。		
	3 おうぎ形 						2 三平方の定理の利用	
	1 いろいろな立体							1 標本調査
2 立体の見方と調べ方	◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 年間105時間学習します。	◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 3年間の復習と入試の類似問題に挑戦します。 ◎ 年間140時間学習します。						
3 立体の表面積と体積			◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 年間140時間学習します。					
7 資料の分析と活用 資料を表やグラフに表す良さを学習します。				1 資料の分析	2 標本調査の利用			
6 空間図形 立体についての基本を学びます。	2 資料の活用	◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 年間140時間学習します。						
	3 近似値と有効数字		3 近似値と有効数字					
数量関係のまとめと発展学習 図形についてのまとめと発展		◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 年間105時間学習します。		◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 3年間の復習と入試の類似問題に挑戦します。 ◎ 年間140時間学習します。				
◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 年間140時間学習します。		◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 年間105時間学習します。		◎ 各単元末に評価テスト、補充授業を行います。 ◎ 3年間の復習と入試の類似問題に挑戦します。 ◎ 年間140時間学習します。				

# 理科

## 1、こんな力をつけよう

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探求する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

## 2、こんなふうに勉強しよう

### (1) 授業では

- ① 目的、方法をよく理解してから、実験・観察に取り組もう。
- ② 変化の様子を正確に観察・測定して記録しよう。
- ③ 他の人の考えも参考にして、自分の考えを深め、レポートをまとめよう。
- ④ レポートや定期テストの答案が返されたとき、必ず見直しをしよう。
- ⑤ 問題プリントは、間違ったところを見直ししておこう。

### (2) 家庭では

- ◎ その日に学習したところを復習しておこう。
- ① ノートやプリント、教科書をよく見直ししておこう。
- ② 返却されたレポートをもとに目的・方法・結果をよく理解しておこう。
- ③ 問題集やプリントで学習したときは、間違ったところやわからなかったところを確認し解決しておこう。

## 3、こんながんばりが評価されます。

① <u>自然事象への関心・意欲・態度</u> 授業に意欲的に参加しているか。興味、関心を持ち日常生活と関連づけて考察しようとしているか。	② <u>観察実験の技能・表現</u> 観察実験の仕方を習得し、積極的に参加して、自分の考えをレポートにまとめ、発表することができるか。
③ <u>科学的な思考・判断</u> 自然現象を調べる方法を考え、科学的に考察し、言葉で表現したり、文章に表したりすることができるか。	④ <u>自然現象についての知識・理解</u> 自然現象の基礎的基本的な内容を理解し、その知識を身につけているか。

### ◎評価の方法

① <u>授業態度</u>	授業に意欲的・積極的に参加しましょう。
② <u>表現</u>	調べたこと、気がついたこと、わかったことは積極的に発表したり、文章にまとめたりしましょう。
③ <u>提出物</u>	定期的にノートやプリント、ワーク、レポートを提出してもらいます。きちんとまとめてしめ切りを守りましょう。
④ <u>テスト</u>	定期テストや小テストで知識・理解だけでなく、関心・意欲、科学的な思考力、表現力等も調べます。復習をしっかりとしましょう。

4 こんな内容を学習します。

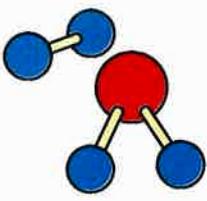
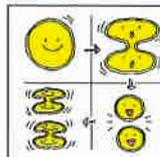
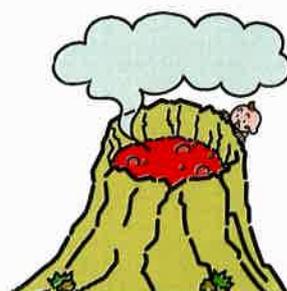
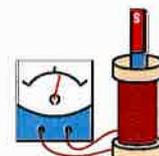
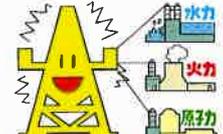
# 1分野 物質とエネルギー 編

物理・化学

# 2分野 生命と地球 編

生物・地学



	1年生	2年生	3年生
1 学 期	<p><b>植物の世界</b></p> <p>生物の観察 植物の体のつくりと働き 植物の仲間</p>  <p><b>身のまわりの物質</b></p> <p>物質のすがた 水溶液・状態変化</p>	<p><b>化学変化と原子・分子</b></p> <p>物質の成り立ち 化学変化 化学変化と物質の質量</p> 	<p><b>生命のつながり</b></p> <p>生物の生長と増え方 遺伝の規則性と遺伝子</p>  <p><b>運動とエネルギー</b></p> <p>運動の規則性 力学的エネルギー</p>
2 学 期	<p><b>変動する大地</b></p> <p>火山と地震 地層の重なりと過去の様子</p> 	<p><b>電流とそのはたらき</b></p> <p>電流 電流と磁界</p>  <p><b>動物の世界</b></p> <p>生物と細胞 動物の体のつくりと働き 動物の仲間 生物の変遷と進化</p>	<p><b>地球と宇宙</b></p> <p>天体の動きと地球の自転・公転 太陽系と恒星</p>  <p><b>化学変化とイオン</b></p> <p>水溶液とイオン 酸・アルカリとイオン</p>
3 学 期	<p><b>身のまわりの現象</b></p> <p>光と音 力と圧力</p>	<p><b>天気とその変化</b></p> <p>気象観測 天気の変化 日本の気象 大気の動きと海洋の影響</p> 	<p><b>生物どうしのつながり</b></p> <p>生物と環境 自然の恵みと災害 自然環境の保全と科学技術の利用</p>  <p><b>自然・科学技術と人間</b></p> <p>エネルギー 科学技術の発展 自然環境の保全と科学技術の利用</p>

# 音楽



## 1 こんな力をつけよう

(1) 「音」を聴いて「音」や「音楽」に興味や関心を持とう。日本の音楽や世界の音楽などたくさんの音楽に触れることで、それらの特徴や良さを感じることができるようになります。

(2) 「音楽」を表現するための技能を身につけよう。音楽が好きになり、音楽の楽しさや美しさを体験することができます。

## 2 こんなふう勉強しよう

### (1) 授業では

- ・音楽室に入ったら、音楽を学ぶ気持ちを持とう。これから新たに学ぶ楽しさや授業に期待をしよう。
- ・学習道具(教科書・ファイル・筆記用具等)を忘れないこと。
- ・授業開始時間に遅れないように着席すること。遅れてきたときは、遅れた理由を先生に報告してから着席すること。
- ・あいさつは大きな声で心をこめてしましょう。
- ・授業中、勝手に席を立ったり、無駄な私語はしないこと。
- ・音楽室の物は大切に使うこと。授業のマナーをしっかり守ってください。
- ・先生の話、友達の演奏、模範のCDやビデオなどを集中してよく聴きましょう。新しいことを知る喜びや分かる楽しさを体験できます。
- ・元気よく、大きな声で歌いましょう。恥ずかしがらずに自分を素直に表現しましょう。
- ・正しい姿勢や正しい発声の仕方を身につけよう。良い声は姿勢から。
- ・音楽の美しさや豊かな響きを身体で感じ、感性に磨きをかけよう。
- ・友だちと心を合わせ演奏する楽しさを味わおう。一人で表現する楽しみと友だちやクラスの人々と共に練習し、苦労し、成功させた時の満足感や感動をぜひ味わいましょう。



### (2) 家庭では

- ・その日の授業や自分の活動の様子を家の方に話そう。家の方の体験談やアドバイスも貴重です。
- ・テレビやラジオ等をじょうずに活用し、「良い音楽」を聴こう。
- ・身の回りにある「音」や「音楽」に興味を持とう。幅広い教養を身につけ、機会があれば「本物の演奏」をぜひ聴きに行きましょう。



### 3 こんながんばりが評価されます

毎回の授業でのがんばりと実技テスト、期末テスト、自己評価カード、提出プリントなどを総合して評価します。音楽と進路については、音楽を専門に学ぶ高校に進学を希望する場合は、希望する学校の入学案内や募集要項を取り寄せ、早めに受験のための準備（聴音、新曲視唱他）が必要です。

<b>関心・意欲・態度</b> 音楽に親しみ、進んで学習しているかを見ます。ぜひ身に付けてほしい大事な力です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備（開始時刻の着席、教材の机上への準備）ができているか。</li> <li>・忘れ物はないか。・挙手や発言が活発か。</li> <li>・意欲を持って学ぶ姿勢があるか。</li> </ul>
<b>感受や表現の工夫</b> 音楽のよさや美しさを感じ、工夫し、生かそうとする力です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しく豊かな音色をめざして努力しているか。</li> <li>・詞や曲の雰囲気を感じて演奏できるか。</li> <li>・音楽の特徴や良さを感じることができたか。</li> <li>・音のつながりや構成などを理解し、それらを生かした表現を工夫しているか。</li> </ul>
<b>表現の技能</b> 恥ずかしがらずに自分を表現し、人に正しく伝える力です。力を付けようとする努力も重視します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲のイメージを音をとおして、適切に表現できる。</li> <li>・積極的に力を伸ばそうと努力しているか。パートやグループ練習に協力的に参加したか。実技テストでしっかりできたか。</li> </ul>
<b>鑑賞の能力</b> 楽しく聴き、音楽の美しさや良さを味わう力です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中してしっかり聴くことができるか。</li> <li>・関心を持ち、意欲的に見たり聴いたりできるか。</li> <li>・様々な音楽の特徴を意識して聴き取っているか。</li> <li>・音楽を聴いて感想を述べることができるか。</li> </ul>

### 4 こんな内容を学習します

\*学年により曲が異なります

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発声について学習する。 姿勢、口の形、呼吸、表情 発声体操、発声練習</li> <li>○ 校歌、その他の歌唱教材をと おし上記のことがらについて 学習する。</li> <li>○ 器楽の学習 （アルトリコーダー、 箏等）</li> <li>○ 春の名曲、鍵盤楽器の名曲、 合唱の名曲の鑑賞 春・魔王</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合唱コンクールに向けての 取り組み 学年合唱、クラス合唱 その他の歌唱教材</li> <li>○ 合唱コンクール曲をとおし ての重唱の練習と発表</li> <li>○ 西洋音楽の名曲の鑑賞 交響曲第5番、 ヴァイオリン協奏曲、 オペラ、バレエの名曲の鑑 賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の伝統音楽の鑑賞 雅楽 箏、尺八の名曲 能、文楽、歌舞伎</li> <li>○ 世界の民族音楽の鑑賞</li> <li>○ 行事に向けての取り組み 3 送会、卒業式で歌う合唱曲 卒業生の合唱、在校生の合唱 全校合唱</li> </ul>



# ☆ 美 術 ☆

## 1. こんな力をつけよう

美術は、制作や鑑賞を通して、心を育てる教科です。学習は、絵を描いたりいろいろなものをつくったりすることが中心となります。その中で、美的な感覚を洗練し、表現の能力を養うとともに、美術的な能力を生活に生かす態度や習慣を培っていくのです。大切なことは、自分の見方で、自分の考えで、自らつくり出していくことです。たえず自分のまわりのいろいろなものを注意深く観察して、色や形に対する感覚を磨いていきましょう。また、一つの作品を完成するのに何時間もかかります。1時間、1時間を大切に、真剣に作品（自己）と取り組み、そして完成した満足感・充実感を味わってほしいと思います。

## 2. こんなふうに勉強しよう

- <学習のポイント>
- ①素直な気持ちで、人まねをせず、自分なりの表現をする。
  - ②根気強く、最後まであきらめずに制作に没頭する。
  - ③作品・用具は大切に扱う。
  - ④制作に必要な材料は、自分で用意する。
  - ⑤作品は、決められた期日までに必ず提出する。

## 3. こんな内容を学習します

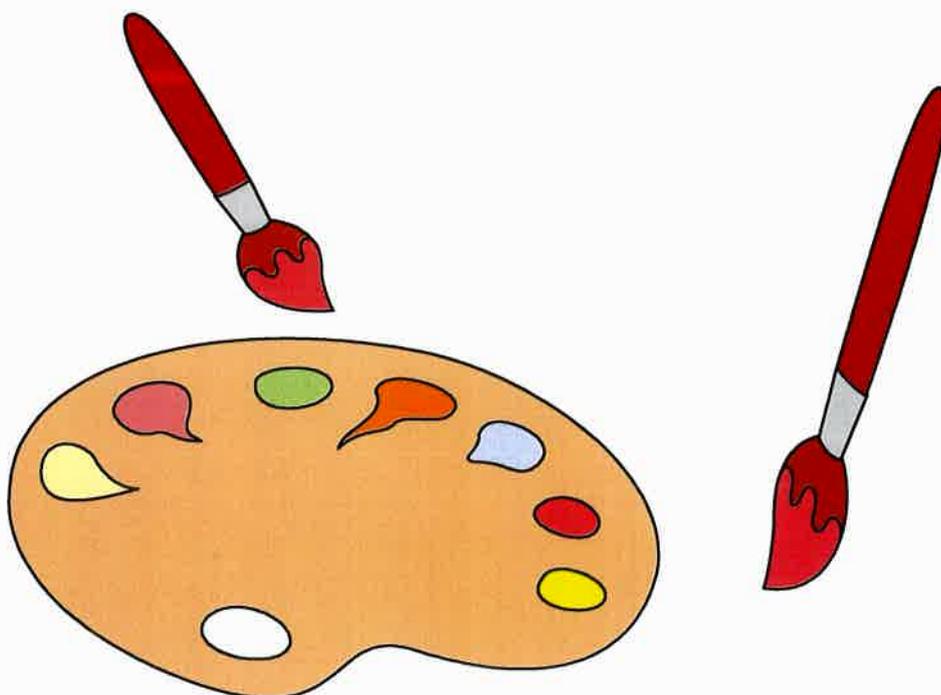
○表現（絵や彫刻）（デザインや工芸）    ○鑑賞

月	1年	2年	3年
4	*美術との出会い（鑑賞）	*気持ちを素直に（鑑賞）	*古都の美しさ（鑑賞）
5	*身近な春の風景を描こう (絵)	*奥行きや広がりのある 風景を描こう (絵)	*印象を大切に して 風景を描こう (絵)
6	*基礎的な表現技法の体得 ・素描 ・構図	*自分を見つめて (絵・彫)	*私の世界（絵・彫）
7	・文字のデザイン		
9	・絵の具、用具の扱い方 ・色の性質		
10	・いろいろな表現技法 *四季をイメージして (デ・工)	*思い出のーコマ (絵・彫)	*心のモニュメント (絵・彫)
11	*材料体験（絵・彫・デ・工）	*絵手紙を描こう (絵・彫)	
12	・和紙でつくろう		*ピカソの芸術（鑑賞）
1	・プラスチックの宝物 ・絵手紙を描こう	*自分のマークをつくろう (デ・工)	*感謝の心を込めた プレゼント (デ・工)
2	*あら不思議 (絵・彫)		
3	*ザ・看板（デ・工）		

## 4. こんながんばりが評価されます

制作が中心となりますが、美術でも知識・理解として覚えなくてはいけないことがたくさんあります。しかし、黒西中では、美術の「定期テスト」は行っていません。それは、知識として頭の中にあっても、実際に作品の中に生かされなければ、本当に学んだことにはならないからです。作品の中には、あなたの思いや願いがぎっしり詰まっています。活動状況や作品から下記の内容が身に付いたかどうかを確認し、通知票に示されます。

観点	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作に熱中して、最後までがんばって作品を完成させている。</li> <li>材料、用具などの準備、片付けがきちんとできる。</li> <li>提出期限を守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアが豊富で、その中から意図にあった最良のものを選ぶことができる。</li> <li>制作の見通しをたてている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の表現に必要な材料や技法を選んで、有効に活用している。</li> <li>自分独自の表現をすすめるための工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作品に愛情をもち、友達の作品のよさを見つけ、自分の制作に役立てることができる。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の活動状況</li> <li>制作の計画性</li> <li>忘れ物や作品の提出</li> <li>道具や材料の準備、片づけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の活動状況</li> <li>制作カードの記入状況</li> <li>完成作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の活動状況</li> <li>材料の準備状況</li> <li>完成作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞カード</li> <li>自己評価、相互評価の状況</li> <li>作品の鑑賞態度</li> </ul>



# 保健体育



## 1 こんな力をつけよう

- ・ 色々な運動に親しむことで、体力を高め、強い心を育てよう。
- ・ 健康・安全についての知識を深め、実践できる力をつけよう。



## 2 こんなふうに勉強しよう

### (1) 授業では

- ・ やればできる、うまくなろう、速くなろう、負けないようにやろうという前向きな気持ちを持つ。
- ・ 集団での行動が多いので、ルールを守り協力して活動する。
- ・ 所定の服装で参加する。
- ・ 準備運動を係りの指示にしたがって、しっかりと行う。
- ・ 見学者は生徒手帳に見学理由を書いて、保護者の印をもらったものを担任の先生に見せた後、体育科の先生に必ず見せる。また、見学理由をはっきりと言う。
- ・ 施設や用具は安全に注意して大切に使用する。

### (2) 家庭では

- ・ 体力向上のため授業だけでなく、部活動や家庭でも積極的に運動に取り組む。
- ・ 興味をもってスポーツ番組や新聞などを見よう。

## 3 こんながんばりが評価されます

基本的に、行った單元ごとに評価していき、学期ごとに合計して決定していきます。單元によって、技能テストを行う場合もあります。

通知票では、4つの観点から、以下のようなことが評価されます。

### ① 関心・意欲・態度

- 健康管理をしっかりと行い、授業に参加できている。
- 始まりの時間を守り、きちんとした服装で授業準備ができている。
- 忘れ物がない。
- 積極的に授業に参加している。
- 仲間と協力して取り組むことができている。
- リーダーシップを発揮することができている。

### ② 思考・判断

- カードの記入をして、毎回提出できている。
- 自分の運動技能の課題を設定し、それを解決するための努力をしている。
- 状況に応じて、仲間と教え合うことができる。



### ③ 技能

- 運動技能を発揮することができている。
- 運動技能を高めることができている。
- ④ 知識・理解
- 運動の特性や保健についての知識を深め、理解できている。

4 こんな内容を学習します

体 育 分 野		
1 学期	2 学期	3 学期
<p>○体づくり運動 集団行動・新体力テスト 跳躍力、柔軟性、全身持久力など、自分の体力が細かく分かります。</p> <p>○陸上競技Ⅰ リレー 技能を高めるとともに、記録の追及をします。</p> <p>○器械運動Ⅰ マット運動を仲間とアドバイスしながら進めていきます。</p> <p>○水泳 クロール、平泳ぎ、背泳ぎを行います。3分間泳、泳力検査</p>	<p>○ダンス、組体操 運動会に向けて、女子はダンス、男子は組体操を練習します。</p> <p>○陸上競技Ⅱ 長距離走 ベストタイムの更新を目指して頑張りましょう。</p> <p>○器械運動Ⅱ 跳び箱運動 ひとつでもできる技を増やしましょう。</p>  <p>○球技Ⅰ ソフトボール ○武道（柔道） 男女とも武道（柔道）とソフトボールを行います。</p>	<p>○球技Ⅱ サッカー、バドミントン 課題に合った練習をし、チームで作戦を立てて、ゲームへと発展していきます。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><b>運動の楽しさや喜びを味わおう！！</b></p> </div>  <p>※あくまで予定ですので、行事・授業時数等の関係で変更することがあります。</p>
保 健 分 野		
<p>生涯を通じて健康な生活が送れるよう、健康や安全について学習します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;">  <ol style="list-style-type: none"> <li>1 心身の発達と心の健康</li> <li>2 健康と環境</li> <li>3 障害の防止</li> <li>4 健康な生活と病気の予防</li> </ol> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">これらを、3年間を通して学習します。</p>		

# 技術・家庭科

技術・家庭科は、現在および将来の生活に必要な技術を、実践を通して学びます。自分でものをつくることを通して、人間の生活にとって技術はどうあったらよいかを考え、家庭生活や社会生活をよりよくする勉強をする教科です。

## 1 こんな力をつけよう

- ・生活に必要な技術を身につけ、創意工夫してものをつくる力
- ・協力と責任と安全を重んじ、仕事を計画的、合理的にすすめる力
- ・身につけた技術を生活に活用し、生活を明るく豊かにする力
- ・心豊かな人間性を育み、他者とかわる力



## 2 こんなふうに勉強しよう

### 授業では

- ・身近なものに目を向け、観察・研究する態度を持とう。
- ・「行う」（製作する）という活動だけでなく、「知る」・「考える」という活動を結びつけて学習しよう。
- ・製作物は正確に美しく仕上げ、さらにどうして？なぜ？と考える姿勢を持とう。
- ・作業の説明・注意をよく聞き、わからない点があったら質問しよう。

### 家庭では

- ・学習したことを応用して、実生活に生かす工夫をしよう。
- ・家の手伝いを心がけ、家族の一員としての自覚を高めよう。



## 3 こんながんばりが評価されます

【関心・意欲・態度】	
好き、きれいということではなく、いかに真剣に取り組もうとしているかを評価します。	<input type="checkbox"/> 授業の準備（開始時間の着席、教材の用意ができているか。） <input type="checkbox"/> 忘れ物はないか。忘れた時は連絡しているか。 <input type="checkbox"/> 授業中、読む・書く・聞く・作業する、のけじめをつけ、進んで取り組んでいるか。 <input type="checkbox"/> 作業の準備、片付けを進んで行っているか。 <input type="checkbox"/> 協力して実習を進め、学校の設備を大切に使用しているか。 <input type="checkbox"/> 作品や提出物を期限までにしっかり仕上げ、提出しているか。（重視します）
【工夫・創造する力】	
作品をよく仕上げるためや生活をよりよくするために工夫する力を評価します。	<input type="checkbox"/> 授業中の課題に対し、いろいろ考え、工夫して解決しようとしているか。 <input type="checkbox"/> 自分の作品に対し、さらによくするための工夫をしているか。 <input type="checkbox"/> 自分の生活を、便利にするための工夫を考えようとしているか。
【生活の技能】	
作品を正確に製作し、生活の中に生かすことのできる技能を評価します。	<input type="checkbox"/> 作りたい物の形を正確に表示し、製作の工程をまとめることができるか。 <input type="checkbox"/> 製作する物を正確に加工したりすることができるか。 <input type="checkbox"/> 製作のために機械や機器、道具や工具などを正確に使用することができるか。 <input type="checkbox"/> 身につけた技能を生活の中で生かすことができるか。
【知識・理解】	
学習で身に付いた知識や、それをもとに利用する理解力を評価します。	<input type="checkbox"/> 定期テストの結果はどうか。 <input type="checkbox"/> 学習したことが、実技で実施できているか。 <input type="checkbox"/> 学習した内容について、適切に答えることができるか。

## 4 こんな内容を学習します

### 技術分野

	1 学年	2 学年	3 学年	
一学期	<p><b>ガイダンス</b> 技術と生活や産業との関わり</p> <p>生活を豊かにする小物を作ろう</p> <p>間材を使った簡単な道具を作ろう</p>	<p>わたしたちの生活と栽培の係わりを考えよう</p> <p>ミニトマトの栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培の見通しを立てよう</li> <li>土や養分を考えよう</li> <li>日常の手入れ 苗の観察、収穫</li> </ul>	<p>生活に役立つ小物を作ろう</p> <p>電気回路を使った製作品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気ってなあに！！</li> <li>電気機器の安全な使い方</li> <li>製作品の組み立て</li> <li>エネルギー問題について考えよう</li> </ul>	<p>作物を栽培して生活に生かそう</p> <p>ジャガイモ・ナス・ピーマンの栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培の見通しを立てよう</li> <li>日常の手入れ 苗の観察、収穫</li> </ul>
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材の特徴</li> <li>工具の使い方</li> <li>製作品の構想表示</li> </ul> <p>板材を使って机の上を整理するものを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材料に適した加工法</li> <li>設計</li> <li>材料取り 部品の組立 仕上げ</li> </ul>	<p>コンピュータ活用の計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを作ろう</li> <li>コンピュータを分解してみよう</li> <li>デジカメの達人になろう</li> </ul>		<p>情報を活用して生活に生かそう</p> <p>コンピュータでロボットを動かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム言語を学ぼう</li> <li>ロボットの指令を出そう</li> <li>情報を安全に活用しよう</li> </ul>
三学期	<p>情報を活用し生活に生かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの構成と操作</li> <li>ソフトウェアの使い方</li> </ul>			

### 家庭分野

	1 学年	2 学年	3 学年
一学期	<p>「ガイダンス」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族や家庭生活</li> </ul> <p>「食生活を見つめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事が果たす役割、健康によい食習慣</li> <li>中学生に必要な栄養の特徴</li> </ul>	<p>「衣生活を見つめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じた着用と個性を生かす着用の工夫</li> <li>衣服の適切な選択、手入れ</li> </ul>	<p>「私の成長と家族とのかかわり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や家族の基本的な機能</li> <li>家庭生活と地域とのかかわり</li> </ul> <p>「家庭と子どもの成長を知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の発達と生活の特徴</li> <li>子どもが育つ環境と家族の役割</li> </ul>
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の1日に必要な食品の種類と概要</li> <li>中学生の1日分の献立の立て方</li> <li>用途に応じた食品の適切な選択</li> <li>日常食の調理と地域の食文化</li> </ul> 	<p>「布を用いた作品づくりにチャレンジしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>布を用いた物の製作</li> </ul> <p>「住まいを見つめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族の住空間と住居の機能</li> <li>家族の安全を考えた室内環境</li> <li>快適な住まい方</li> </ul>	<p>「賢い消費者になろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の基本的な権利</li> <li>生活に必要な物資、サービスの適切な選択</li> <li>購入及び活用</li> <li>環境に配慮した消費生活</li> </ul> 
三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常食の調理(発展)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品を作ってみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児との触れ合い活動</li> </ul> 

## English ・ 英語

～ 世界の人口のほぼ3分の1の人々が、母国語や公用語として話している英語 ～

小学校で学んだ英語を本格的に勉強する中学校の英語学習の始まりです。みんなが新たに、同じスタートラインで勉強し始める教科です。算数が苦手だった人も、社会が苦手だった人も、勉強が苦手だった人も大丈夫！ 「地道な努力と強い意志」があれば、誰でも必ず『英語の達人』になれます。

**You can do it !**

**Never give up !**

### 1 こんな力をつけよう

(1) 英語でCommunication! ～ 英語を使ってコミュニケーションがとれるようになるための基礎を学びます～

**聞く力** : A L Tの言っていることがわかるようになる。難しそうだけどコミュニケーションは以心伝心、やればきっと君の心は通じるはず。

**話す力** : 自分の言いたいことを英語で言ってみよう！ ことばだけでなく、ジェスチャーや絵や写真を使えば気持ちがさらに伝わるよ。

**読む力** : 世界中のインターネットの8割は英語で書かれているんだ。英語が読めないと情報に遅れちゃう！

**書く力** : 英語でメールを送ることができたら、世界中に友達ができるかも！

(2) 太陽は「何色」？ 3つの「キーウィ (Kiwi)」って？

○ 私たち日本人は、太陽を何色で描くでしょうか。ふつうは「赤色」で塗りつぶしますね。英語圏の人々は「黄色」で描きます。ちなみにうさぎは「茶色」です。日本人は多くの人が「白色」を使いますね。色から受ける印象や感じ方、色のもつ意味は、国や文化によって異なりますよ。

○ フルーツの「キーウィ」は誰でも知っていると思いますが、輸入される9割はニュージーランド産で、「キーウィ」という同じ名の鳥がニュージーランドに生息し、国鳥になっています。また、キーウィには「ニュージーランド人」という意味もあります。



このように、英語の学習を通して、外国の歴史や文化、風俗、習慣を知り、様々な角度から世界を感じ、ものを考えることができる力をつけよう。同時に、日本の良さを再確認することもできると思います。

### 2 こんなふう勉強しよう

英語は、「私、好き、テニス。」

最初はアルファベットの練習からスタート。いろいろな英語の歌も楽しく覚えよう。少しずつ単語も覚えて、いよいよ英語の文に挑戦だ！ 英語は「I like tennis.」(私、好き、テニス)のように日本語とは並び方がちょっと違うから注意して勉強していこう。1年生で中学3年間の基本をしっかりと身につけよう。



(1) 英語の時間 心構え 8か条

- 1 きちんと準備して授業にのぞもう。(ノート作り 予習・宿題はバッチリと)
- 2 先生の話はしっかり聞こう。わからないことは質問しよう。
- 3 英語の時間は集中力が命。先生の指示に速やかに反応できるように集中しよう。
- 4 恥ずかしがらず大きな声で発音したり読んだりしよう。
- 5 ペアワークなどの活動には、学んだ英語を使って積極的に取り組もう。
- 6 あいさつや会話練習等の活動は、相手の目を見て気持ちを込めてやろう。
- 7 積極的に挙手、発言しよう。
- 8 ほかの人の間違いや失敗を笑うのは絶対にだめ。



## (2) 家庭学習のポイントは

ワークブックなどを用いて、復習中心の家庭学習をしよう。また、ノート作りを通して予習の仕方を身につけよう。家庭学習は「少しずつ、でも毎日」が基本です。継続は力なり！！後からジワッと力がついたことが実感できるはずですよ。

### 英語が得意な先輩たちの勉強方法拝見

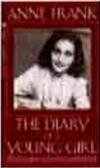
- 単語は文を作り、繰り返し覚える。
- 教科書の基本文は完璧に覚える。
- 覚えたものはどんどん使う。
- 「わからない」を残さない。
- テストをきちんと保管し、間違った問題を確認する。

「英語はスポーツや楽器と同じ。毎日、繰り返し練習すれば必ずうまくなるよ。」

## 3 こんな頑張りが評価されます

<b>関心・意欲・態度</b> 勉強の基本です これなくして道は開けない！	・授業の準備はOK？ 忘れ物はないかな ・提出物は期限を守ってきちんと提出できるかな ・ノートは工夫してきちんと整理されているかな ・挙手や発言は積極的にできたかな
<b>表現の能力</b> 自分の考えを伝える力	・英語で挨拶や簡単な受け答えができるかな ・積極的にコミュニケーション活動に取り組めたかな ・自分の気持ちや考えを話したり書いたりできるかな ・定期テストはきちんとやり直しているかな
<b>理解の能力</b> 相手の考えを知る力	・読む力はどれくらいついたかな ・聞き取る力はどれくらいついたかな ・小テストに向けて積み重ねの学習はOK？ ・定期テストに計画的に取り組み、テストの内容は理解できていたかな
<b>言語・文化についての知識・理解</b> 世界を知る力 言葉のバックグラウンドを知る	・英語の仕組みがわかってきたかな ・単語力は、「英語力」の大切な要素ですよ ・英語の歴史やそれを使う人々の文化を理解できたかな ・私たち(日本)の文化を紹介できるかな

## 4 こんな内容を学習します

	1年生	2年生	3年生
目標	主に、現在形の文の表現を学びます	主に、過去形と未来形の文の表現を学びます	主に、現在完了形と関係代名詞の文の表現を学びます
単語	約300語と連語	1年生と合わせて、500~600語と連語	1, 2年生と合わせて、1, 200語程度と連語
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベット</li> <li>基礎的な英単語</li> <li>一般動詞を用いた文</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去形 (不規則動詞、be動詞)</li> <li>未来形 (will)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>受身 (~られる)</li> <li>現在完了形 (have (has) + 過去分詞)</li> </ul> 
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>三単現のS</li> <li>疑問文、否定文</li> <li>be動詞の文</li> <li>疑問詞で始まる文</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞</li> <li>助動詞 ②</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞</li> </ul> 
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>進行形</li> <li>助動詞 ①</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較の表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総まとめ</li> </ul>

かていがくしゅう

# 家庭学習のすすめ

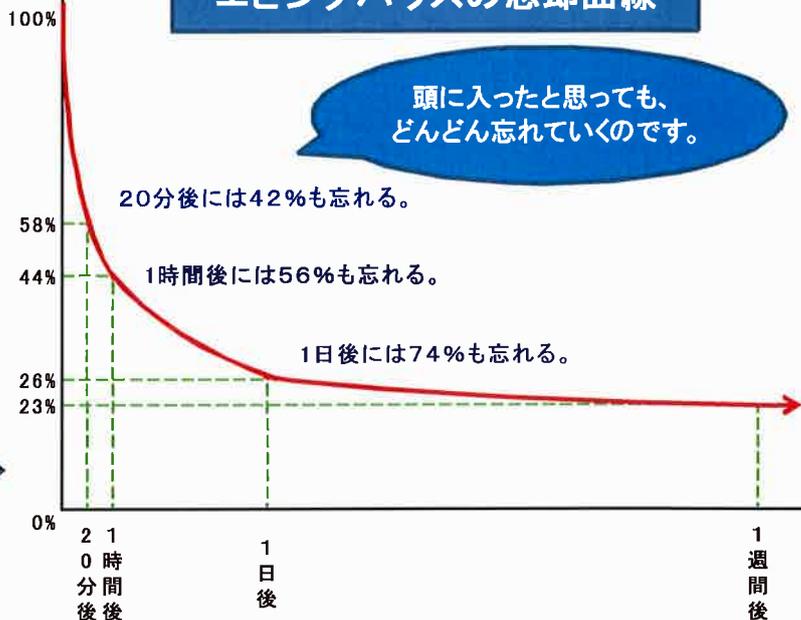
**復習**すると、学校で  
まなんだ学んだことが、自分の  
ちから力になります。

**復習**しよう！

○復習しないと、すぐ  
わす忘れちゃいます！



## エビングハウスの忘却曲線



かていがくしゅうじかん

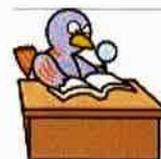
## 家庭学習時間のめやす

### 中学校

1年生 1時間 30分

2年生 2時間

3年生 2時間 30分



**予習**をすると、授業が  
たの楽しくなります。

**予習**をしよう！

○疑問をもって、明日の  
授業にのぞもう！

きょう 今日からやってみよう！ そして、まず3日を乗り越えよう！

めきめき力がついてきます！ **学力アップ！！**

かていがくしゅう

## 家庭学習のすすめ



ふくしゅう

## 復習しよう！



がくしゅう ないよう ていちゃく  
学習内容が定着し、  
かくじつ ちから  
確実に力がつきます！

1 まず、<sup>しゅくだい</sup>宿題をすませましょう。



2 今日、<sup>きょう がっこう べんきょう</sup>学校で勉強したことを<sup>おもいだ</sup>思い出してみよう。

<sup>ほうほう</sup>こんな方法もあります。

- ・ <sup>きょう べんきょう</sup>今日勉強したことを、<sup>おうち ひと おしえて</sup>お家の人に教えてあげる。
- ・ <sup>きょう べんきょう おもいだ</sup>今日の勉強を思い出しながら、<sup>ふくしゅうよう</sup>復習用ノートに<sup>か</sup>書きだしてみる。  
<sup>ご じゅぎょう</sup>その後、授業のノートと比べてみる。

3 <sup>きょうかしょ</sup>教科書、ノート、プリントなどを<sup>みなお</sup>見直しましょう。

- ・ <sup>じゅぎょう</sup>授業のノートに、<sup>か まちが</sup>書き間違いや<sup>かきお</sup>書き落としがあれば、<sup>なお</sup>直したり、<sup>か</sup>書きこんだりしておきます。
- ・ <sup>ことばとう</sup>わからない言葉等は、<sup>じしょ</sup>辞書などで<sup>しら</sup>調べます。



4 <sup>もんだい かだい と</sup>問題、課題を解いてみましょう。

- ・ <sup>もんだい</sup>できている、わかっている問題は、<sup>め とおす</sup>さらっと目を通す。
- ・ <sup>もんだい</sup>できなかった、わからなかった問題を<sup>たいせつ</sup>大切にする。

→<sup>ふんかんが</sup>5分考えても<sup>わ</sup>分からない問題は、<sup>もんだい</sup>学校の<sup>がっこう</sup>先生に<sup>せんせい</sup>教えて<sup>おし</sup>もらいましょう！



かていがくしゅう

## 家庭学習のすすめ

よしゅう

## 予習しよう！



- がくしゅう ないよう  
・学習する内容がわかっているの  
で、授業が楽しくなります。
- じゅぎょう たのしく  
・自分の「わからないこと」がはっき  
りしているの、授業に集中しての  
ぞめる。

あす じゅぎょう がくしゅう きょうかしよ よむ  
1 明日の授業で学習する教科書のページを読む。

たいせつ せん ひ しるし  
2 大切なところに線を引き、わからないところに印を  
つける。

### ここがポイント

- あきらか じゅぎょう  
・ わかるところ、わからないところを明らかにして、授業にのぞみ  
ましょう。

ことば たんご じしよ しら  
3 わからない言葉、単語などを、辞書で調べましょう。

もんだい かだい と  
4 問題、課題を解いてみましょう。

- もんだい かだい と だいじょうぶ  
・ 問題、課題が解けなくても大丈夫です。

もんだい あき  
どの問題がわからないかを、明らかにしておきましょう。



きょうか せんせい じゅぎょう すすめかた よしゅう  
・ 教科によって、また、先生の授業の進め方によって、予習の  
やりかた か たんとう せんせい き  
やり方は変わってきます。くわしくは、担当の先生に聞きましょう。

# 各教科の勉強方法

中学校



## 国語

- 教科書を繰り返し音読して、内容をつかもう。
- 新出漢字や読めない漢字、意味の分からない単語は辞書を使って調べよう。
- 授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返ろう。
- その日に学習した漢字、語句などを確認し、繰り返し書いて覚えよう。
- 小説や物語を読んで、人の生き方に対する考えをまとめよう。

## 社会



- 教科書を、声を出して何回も読もう。
- 教科書の太字を、ノートに書いてまとめよう。
- 地図帳をそばに置いて、地名や位置を確認しよう。
- 新聞やテレビのニュースで、世の中の動きに関心をもとう。
- 教科書に出てくる資料や絵、グラフに目を通そう。そして、特色や全体的な傾向をつかもう。
- プリントやワークを進めよう。3回くらい繰り返そう。

## 数学



- 教科書やノートを見直し、今日学習した内容を振り返ろう。
- 教科書やワークの問題を解いて、答え合わせをしよう。間違えた問題をもう一度やると力がつくよ。  
(間違えた問題を大切にしよう。印をつけておこう。)
- 計算問題は継続的にノートにやろう。  
(途中の計算を書いておくこと。)

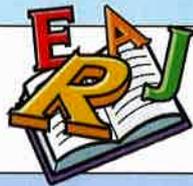
$$\begin{array}{r} 5 \\ 2.719372 \end{array} \overline{) 10784.36} \quad \begin{array}{r} 9 \\ 9 \div 1 \end{array}$$

## 理科



- 理科ノートに目を通し、書き足りていないところは書き足し、書き方の悪いところは訂正して、きちんと整理しよう。
- 教科書の重要語句と観察・実験方法、結果を見直そう。
- 授業で学習したところのワークをやってみよう。できなかった問題は、何度もやり直そう。
- テレビや新聞などで話題になる科学に関することに興味をもとう。

## 英語



- 英単語をノートに何度も書いて覚えよう。そして覚えられたかテストしてみよう。できなかったら、再度練習しよう。
- 熟語の例文を書いて、使い方を覚えよう。
- 教科書の本文をノートに書き写して、日本語訳を書いてみよう。
- 授業で学習する新しい表現文を書いて覚えよう。
- ワークの問題に挑戦しよう。できなかったところは、もう一度復習しよう。

## その他の取組

- いろいろな曲を聞き、好きな音楽の幅を広げよう。
- 美術館、展覧会に出掛け、アートに触れよう。
- 自分や人の命を大切にし、健康でたくましい体をつくろう。
- 食生活に関心を持ち、健康によい食習慣を身につけよう。
- 地域の行事やボランティア活動に参加して、地域の人とのかかわりを深めよう。

